ル。細根ヲ除イタ後所謂「ミガキ」ト稱シテ木灰ト共ニ桶ニ入レ丸キ棒ニテ根ヲ除去スル際ノ様ニ攪拌操作シテ製品トシテ仕上ゲル。

同島ニ於ケル栽遂ノ年產額ハ約 3000 斤トノ事デ筆者等ノ赴イタ當時ノ小賣値ハ風乾シタ丈ノ粗製品ガ 1 斤 28 錢、「ミガキ」ヲ掛ケ精製セルモノ 1 斤 35 錢デアツタ。尙製造者ノ製品ハ一旦產業組合ヲ經テ各市場殊ニ大阪方面ヘ多ク出荷サレルトノコトデアル。

序ニ一言スレバ前述ノ通リ同島ニハ諸處ニ恰モ半自生狀態デ相當量ノうこんガ人家附近ニ生育シテヰルモ土地ノ住民ハ全然利用シナイトノコトデアル。

(1936年 9 月 14 日東京帝大醫學部藥學科生藥學教室ニテ記ス)



Fig. 6. *Curcuma longa* L.
(下屋久村船行ニテ 1936 年 8 月 2 日、藤田撮ル)

雜 錄 Miscellaneous

○臺灣產一新唇形科植物

近著ノ HOOKER's Icones Plantarum, 5 series. vol. III part. 2 t. 3230 (1934) デ *Micromeria formosana* MARQUAND トイフモノガ發表サレテ居ル。ひめはくかノ一種デアルガ臺灣デハ始メテノ屬デアリ、*M. Wardii* MARQUAND et AIRYSHAW ニ一番近イガ、丈ケガ低ク、枝ヲ打チ、葉小サク花冠モ小形、小苞ハ缺ク點デ區別出來ル由。丈 10 cm 程ノ多年生草本デアツテ、臺灣ノ某氏ガ Kew ニ送ツタ種子カラ發芽、育テ上ゲテ記載シタトイフ。日本ノフロラハ日本人ノ手デ當然開明サルベキモノト思ハレテ居ル今日、ソノ方面ノ人モ澤山アルニカカラハズ、所謂出シ拔カレタ態ノ事態ヲ生ジタノハ澤田氏ノ言ヲ藉リレバ民族的慨嘆ニ堪ヘヌ所デアル。 (前川文夫)

○やへがはかんば

本年八ケ嶽山麓ヲ走リ廻ツテやへがはかんば (*Betula dahurica* PALL) ヲ見テ來タノデ其寫眞ヲ出サシテ頂ク事ニシタ。何ニシロ同方面デナイトアンナニ澤山ハ見ラレナイ。尤